【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年１月12日
【四半期会計期間】	第24期第３四半期(自 平成23年９月１日 至 平成23年11月30日)
【会社名】	株式会社ワンダーコーポレーション
【英訳名】	WonderCorporation
【代表者の役職氏名】	代 表 取 締 役 社 長　 宇 津 木 雅 美
【本店の所在の場所】	茨城県つくば市西大橋599番地１
【電話番号】	029(853)1313（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部副本部長　 塚 田 英 雄
【最寄りの連絡場所】	茨城県つくば市西大橋599番地１
【電話番号】	029(853)1313（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部副本部長　 塚 田 英 雄
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目８番16号）

第一部 【企業情報】

第１ 【企業の概況】

１ 【主要な経営指標等の推移】

回次		第23期 第３四半期 連結累計期間	第24期 第３四半期 連結累計期間	第23期 第３四半期 連結会計期間	第24期 第３四半期 連結会計期間	第23期
会計期間		自　平成22年 ３月１日 至　平成22年 11月30日	自　平成23年 ３月１日 至　平成23年 11月30日	自　平成22年 ９月１日 至　平成22年 11月30日	自　平成23年 ９月１日 至　平成23年 11月30日	自　平成22年 ３月１日 至　平成23年 ２月28日
売上高	(千円)	46,422,324	46,413,317	15,487,942	15,716,898	65,617,305
経常利益	(千円)	280,498	729,059	126,718	258,741	943,089
四半期(当期)純利益又は四半期純損失（△）	(千円)	20,692	△648,174	15,705	112,949	236,571
純資産額	(千円)	―	―	10,578,635	9,858,217	10,635,629
総資産額	(千円)	―	―	28,733,707	27,827,651	27,431,842
１株当たり純資産額	(円)	―	―	197,055.43	191,906.73	207,078.96
１株当たり四半期(当期)純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額（△）	(円)	387.08	△12,672.28	293.78	2,208.25	4,469.86
潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	―	―	―	―	―
自己資本比率	(%)	―	―	36.7	35.3	38.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	156,336	61,547	―	―	974,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△657,939	△234,605	―	―	△741,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△92,007	△291,992	―	―	△588,698
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(千円)	―	―	1,511,376	1,283,918	1,748,969
従業員数	(名)	―	―	519	523	514

（注）１ 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２ 売上高には、消費税等は含まれておりません。
３ 潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第３四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第３四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年11月30日現在

従業員数(名)	523 〔1,946〕

(注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の当第３四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成23年11月30日現在

従業員数(名)	499 〔1,743〕

(注) 1 従業員数は就業人員であります。
2 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の当第３四半期会計期間の平均雇用人員であります。

第２ 【事業の状況】

１ 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 販売実績

当第３四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごと・商品別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称・商品名		販売高(千円)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
ゲームソフト及び関連商品	新 品	3,014,562	19.2	―
	中古品	1,260,704	8.0	―
	卸 売	941,037	6.0	―
	計	5,216,303	33.2	―
音楽ソフト	新 品	790,956	5.0	―
	中古品	357,422	2.3	―
	卸 売	189,560	1.2	―
	計	1,337,940	8.5	―
映像ソフト	新 品	357,475	2.3	―
	中古品	349,176	2.2	―
	卸 売	121,832	0.8	―
	計	828,483	5.3	―
書籍	新 品	3,247,380	20.7	―
	中古品	148,041	0.9	―
	卸 売	416,163	2.6	―
	計	3,811,585	24.3	―
化粧品	新 品	489,377	3.1	―
	卸 売	41,959	0.3	―
	計	531,337	3.4	―
携帯電話	新 品	966,034	6.1	―
レンタル	レンタル	928,492	5.9	―
その他	その他	660,204	4.2	―
WonderGOO事業	(新品計)	8,865,786	56.4	―
	(中古品計)	2,115,345	13.5	―
	(レンタル計)	928,492	5.9	―
	(その他計)	660,204	4.2	―
	(卸売計)	1,710,553	10.9	―
	計	14,280,382	90.9	―
リユース商品		1,372,452	8.7	―
その他		48,261	0.3	―
WonderREX事業	計	1,420,714	9.0	―
報告セグメント計		15,701,097	99.9	―
その他	計	15,801	0.1	―
合計		15,716,898	100.0	―

(注) １ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２ セグメント間取引については、相殺消去しております。
３ 主要な販売先については、総販売実績に対する販売割合が10%以上の相手先がないため記載を省略しております。

(2) 仕入実績

当第３四半期連結会計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
WonderGOO事業	11,879,728	―
WonderREX事業	886,380	―
報告セグメント計	12,766,109	
その他	1,410	―
合計	12,767,520	―

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

２ 【事業等のリスク】

当第３四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

３ 【経営上の重要な契約等】

当第３四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（１）経営成績の分析

当第３四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で低下した企業の生産活動が急速に回復に向かっているものの、欧州経済不安や円高により、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループのWonderGOO事業におきましては、フルＨＤ画質で全店同時に情報発信できるデジタルサイネージシステム（電子看板）をこれまでの音楽ソフト・ゲーム売場に加え、書籍・化粧品売場にも導入いたしました。また、WonderREX事業におきましては、買取の査定時間の短縮を図るためiPad買取査定システムをWonderREX全店に導入し、業務効率の向上を実現いたしました。更に、各店で行なっていた買取品の補修を集中して行うリペアセンターを稼働させ、補修効率の向上を図ってまいりました。

経費面におきましては、震災の影響から改装スケジュールを見直すとともに、節電の実施等により販管費の抑制を図りました。

店舗面におきましては、新規店舗としてTSUTAYA牛久店を出店いたしました。また、WonderGOO常陸大宮店に化粧品売場とコミックワールド売場を新たに導入する改装を実施いたしました。この結果、当第３四半期連結会計期間末の直営店舗は96店舗、FC店舗数は24店舗となりました。

これらの結果、当第３四半期連結会計期間における売上高は15,716百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は211百万円（前年同期比149.1%増）、経常利益は258百万円（前年同期比104.2%増）、四半期純利益は112百万円（前年同期比619.2%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、WonderGOO事業の売上高は14,280百万円、営業利益は107百万円、WonderREX事業の売上高は1,420百万円、営業利益は91百万円、その他事業の売上高は15百万円、営業利益は12百万円となりました。

（２）財政状態の分析

(流動資産)

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、15,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が465百万円減少したものの、商品が1,087百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第３四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、12,656百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が111百万円、無形固定資産が38百万円、投資その他の資産が231百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、14,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,117百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が241百万円、１年内返済予定の長期借入金が285百万円減少したものの、買掛金が742百万円、短期借入金が500百万円、賞与引当金が140百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第３四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が317百万円減少したものの、資産除去債務が484百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は、9,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失648百万円の計上と、剰余金の配当127百万円によるものです。

（３）キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、第２四半期連結会計期間末に比べ119百万円減少し、1,283百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間における各キャッシュ・フロ－の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロ－）

営業活動によるキャッシュ・フローは、主にたな卸資産の増加1,133百万円により資金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益218百万円、減価償却費245百万円、仕入債務が710百万円増加したことにより、68百万円の資金の増加（前年同四半期は177百万円の資金の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロ－）

投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金・保証金の回収により86百万円増加したものの、有形固定資産の取得78百万円を支出したことにより、２百万円の減少（前年同四半期は11百万円の資金の増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロ－）

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金が164百万円（短期借入金並びに長期借入金の合計額）減少したことにより185百万円の減少（前年同四半期は92百万円の資金の増加）となりました。

（４）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第３四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（５）研究開発活動

該当事項はありません。

第３ 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第３四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第３四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第３四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第４ 【提出会社の状況】

１ 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	124,720
計	124,720

② 【発行済株式】

種類	第３四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年１月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	54,036	54,036	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株制度を採用しておりません。
計	54,036	54,036	―	―

(2) 【新株予約権等の状況】

平成20年５月23日の定時株主総会において決議された新株予約権(ストックオプション)の状況

	第３四半期会計期間末現在 (平成23年11月30日)
新株予約権の数	1,519個
新株予約権のうち自己新株予約権の数	―
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式
新株予約権の目的となる株式の数	1,519株(注)１
新株予約権の行使時の払込金額	178,250円(注)２
新株予約権の行使期間	平成22年６月１日～平成25年５月31日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額	発行価格　　178,250円 資本組入額　　89,125円
新株予約権の行使の条件	①本新株予約権者が、当社又は当社子会社の取締役、監査役、執行役員又は従業員の地位を喪失した場合、その後、本新株予約権を行使することができない。 ②本新株予約権者の相続人は、本新株予約権を行使することができない。 ③本新株予約権者は、大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）における当社の普通株式の普通取引の終値が、当該時点において有効な行使価額に1.30を乗じた金額、又は210,000円のどちらか高い金額を上回らない場合は、本新株予約権を行使することができない。 ④その他権利行使の条件は、当社株主総会及び取締役会決議に基づき、当社と新株予約権者との間で締結する「新株予約権割当契約書」に定めるところによる。

	第３四半期会計期間末現在 (平成23年11月30日)
新株予約権の譲渡に関する事項	新株予約権を譲渡するには取締役会の承認を要する。
代用払込みに関する事項	―――――
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	―――――

(注) １．当社が株式無償割当、株式分割又は株式併合を行う場合、次の算式により目的となる株式の数を調整する。
調整後目的株式数＝調整前目的株式数×無償割当、分割又は併合の割合
２．当社が株式無償割当、株式分割又は株式併合を行う場合、次の算式により行使価額を調整し、調整による１円未満の端数は切り上げる。

$$調整後行使価額＝調整前行使価額\times\frac{1}{無償割当、分割又は併合の比率}$$

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成23年９月１日～ 平成23年11月30日	―	54,036	―	2,358,900	―	2,360,793

(6) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第３四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成23年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	―	―	―
議決権制限株式(自己株式等)	―	―	―
議決権制限株式(その他)	―	―	―
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式　2,887	―	―
完全議決権株式(その他)	普通株式 51,149	51,149	―
単元未満株式	―	―	―
発行済株式総数	54,036	―	―
総株主の議決権	―	51,149	―

② 【自己株式等】

平成23年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ワンダーコーポレーション	茨城県つくば市西大橋599番地1	2,887	―	2,887	5.3
計	―	2,887	―	2,887	5.3

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
最高(円)	71,000	67,000	67,000	68,500	68,900	68,000	63,500	64,000	62,900
最低(円)	50,100	62,200	63,900	63,900	64,800	62,000	59,900	61,100	60,000

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所ＪＡＳＤＡＱ（スタンダード）におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の役職の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
専務取締役(ＥＴ営業本部長)	専務取締役(営業本部長)	阿曽 雅道	平成23年６月１日
常務取締役(ＥＰ営業本部長)	常務取締役(営業本部副本部長)	中山　亙	平成23年６月１日
取締役(管理本部副本部長)	取締役(管理統括長)	塚田 英雄	平成23年６月１日
取締役(ＥＴ営業本部副本部長)	取締役(営業統括長)	後関 邦夫	平成23年６月１日
取締役会長	取締役	小濵 裕正	平成23年10月３日

第５ 【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第３四半期連結会計期間(平成22年９月１日から平成22年11月30日まで)及び前第３四半期連結累計期間(平成22年３月１日から平成22年11月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第３四半期連結会計期間(平成23年９月１日から平成23年11月30日まで)及び当第３四半期連結累計期間(平成23年３月１日から平成23年11月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、前第３四半期連結会計期間(平成22年９月１日から平成22年11月30日まで)及び前第３四半期連結累計期間(平成22年３月１日から平成22年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第３四半期連結会計期間(平成23年９月１日から平成23年11月30日まで)及び当第３四半期連結累計期間(平成23年３月１日から平成23年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第３四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年２月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,283,918	1,748,969
売掛金	1,086,062	977,371
商品	9,776,004	8,688,199
貯蔵品	21,392	14,411
未収入金	1,448,188	1,578,624
繰延税金資産	970,910	768,424
その他	592,957	625,205
貸倒引当金	△8,013	△7,634
流動資産合計	15,171,422	14,393,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 4,645,951	※1 4,777,075
その他（純額）	※1 1,674,173	※1 1,654,818
有形固定資産合計	6,320,124	6,431,894
無形固定資産		
のれん	―	18,013
その他	316,993	337,510
無形固定資産合計	316,993	355,524
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,711,432	4,852,985
その他	1,387,093	1,477,732
貸倒引当金	△79,415	△79,865
投資その他の資産合計	6,019,110	6,250,853
固定資産合計	12,656,229	13,038,271
資産合計	27,827,651	27,431,842

(単位：千円)

	当第３四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年２月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,512,625	5,769,723
短期借入金	3,250,000	2,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,342,196	1,627,826
未払法人税等	24,348	266,026
賞与引当金	282,859	142,177
ポイント引当金	1,288,926	1,237,133
災害損失引当金	※3 8,332	―
その他	1,514,984	1,314,243
流動負債合計	14,224,273	13,107,129
固定負債		
長期借入金	2,037,274	2,354,606
退職給付引当金	183,279	173,081
長期預り保証金	289,403	304,383
資産除去債務	484,946	―
その他	750,257	857,013
固定負債合計	3,745,160	3,689,084
負債合計	17,969,433	16,796,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,360,793	2,360,793
利益剰余金	5,308,984	6,085,031
自己株式	△212,931	△212,931
株主資本合計	9,815,747	10,591,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	89	87
評価・換算差額等合計	89	87
新株予約権	42,380	43,747
純資産合計	9,858,217	10,635,629
負債純資産合計	27,827,651	27,431,842

(2)【四半期連結損益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日)
売上高	46,422,324	46,413,317
売上原価	34,371,185	34,283,564
売上総利益	12,051,139	12,129,752
販売費及び一般管理費	※1 11,845,909	※1 11,493,721
営業利益	205,229	636,031
営業外収益		
受取利息	38,181	35,359
受取手数料	77,422	78,786
その他	62,720	66,065
営業外収益合計	178,325	180,212
営業外費用		
支払利息	99,559	86,893
その他	3,496	289
営業外費用合計	103,056	87,183
経常利益	280,498	729,059
特別利益		
固定資産売却益	―	1,242
貸倒引当金戻入額	530	70
新株予約権戻入益	111	1,367
災害見舞金	―	22,281
特別利益合計	641	24,962
特別損失		
固定資産除却損	13,063	26,060
減損損失	80,872	148,082
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	―	224,321
契約解約損	199	―
災害による損失	―	※2 295,138
訴訟和解金	―	※3 780,000
転貸契約等損失	3,600	―
特別損失合計	97,735	1,473,603
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	183,404	△719,581
法人税、住民税及び事業税	207,146	68,834
法人税等調整額	△44,434	△140,240
法人税等合計	162,712	△71,406
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	―	△648,174
四半期純利益又は四半期純損失（△）	20,692	△648,174

【第３四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第３四半期連結会計期間 (自　平成22年９月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結会計期間 (自　平成23年９月１日 至　平成23年11月30日)
売上高	15,487,942	15,716,898
売上原価	11,484,870	11,629,647
売上総利益	4,003,071	4,087,250
販売費及び一般管理費	※ 3,918,140	※ 3,875,706
営業利益	84,931	211,544
営業外収益		
受取利息	12,587	11,529
受取手数料	28,881	29,220
その他	32,044	33,936
営業外収益合計	73,513	74,687
営業外費用		
支払利息	31,719	27,411
その他	7	78
営業外費用合計	31,727	27,489
経常利益	126,718	258,741
特別利益		
貸倒引当金戻入額	―	△993
特別利益合計	―	△993
特別損失		
固定資産除却損	2,262	998
減損損失	37,017	37,954
特別損失合計	39,280	38,953
税金等調整前四半期純利益	87,438	218,794
法人税、住民税及び事業税	150,350	27,840
法人税等調整額	△78,617	78,004
法人税等合計	71,732	105,844
少数株主損益調整前四半期純利益	―	112,949
四半期純利益	15,705	112,949

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年３月１日 至 平成22年11月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	183,404	△719,581
減価償却費	786,213	712,489
減損損失	80,872	148,082
のれん償却額	27,019	18,013
株式報酬費用	5,545	―
賞与引当金の増減額（△は減少）	141,746	140,682
退職給付引当金の増減額（△は減少）	10,249	10,197
ポイント引当金の増減額（△は減少）	40,761	51,793
受取利息及び受取配当金	△38,221	△35,389
支払利息	99,559	86,893
固定資産売却損益（△は益）	―	△1,242
固定資産除却損	13,063	26,060
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	―	224,321
災害見舞金	―	△22,281
災害による損失	―	295,138
訴訟和解金	―	780,000
契約解約損	199	―
売上債権の増減額（△は増加）	△339,013	△108,691
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,357,825	△1,120,935
仕入債務の増減額（△は減少）	914,999	742,901
その他	195,355	349,861
小計	763,929	1,578,312
利息及び配当金の受取額	428	246
利息の支払額	△105,988	△87,909
災害見舞金受取額	―	22,281
災害による損失支払額	―	△236,554
訴訟和解金の支払額	―	△780,000
法人税等の支払額	△502,032	△434,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,336	61,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△768,842	△374,893
有形固定資産の売却による収入	―	2,399
無形固定資産の取得による支出	△29,484	△22,251
貸付金の回収による収入	1,250	―
投資有価証券の取得による支出	―	△30,000
敷金及び保証金の差入による支出	△100,918	△49,047
敷金及び保証金の回収による収入	249,555	247,810
その他	△9,500	△8,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△657,939	△234,605

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	650,000	500,000
長期借入れによる収入	900,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△1,442,486	△1,452,962
リース債務の返済による支出	△65,873	△62,036
配当金の支払額	△133,647	△126,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,007	△291,992
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△593,610	△465,050
現金及び現金同等物の期首残高	2,104,987	1,748,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,511,376※	1,283,918※

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日　至　平成23年11月30日)	
１．持分法の適用に関する事項の変更	(1) 持分法適用関連会社の変更 第２四半期連結会計期間において、当社持分法適用関連会社でありました㈱TSUTAYAワンダーグーの株式を譲渡し関連会社でなくなったため、持分法の適用の範囲から除外しております。 (2) 変更後の持分法適用関連会社の数 ０社
２．会計処理基準に関する事項の変更	「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号　平成20年３月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日)を適用しております。 これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益が20,418千円減少し、税金等調整前四半期純損失が244,739千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は452,529千円であります。

【表示方法の変更】

当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日　至　平成23年11月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号　平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年３月24日　内閣府令第５号)の適用に伴い、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

当第３四半期連結会計期間 (自　平成23年９月１日　至　平成23年11月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号　平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年３月24日　内閣府令第５号)の適用に伴い、当第３四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

【簡便な会計処理】

当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日)
１ 一般債権の貸倒見積高の算定方法 当第３四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。 ２ たな卸資産の評価方法 当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第２四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。 ３ 固定資産の減価償却費の算定方法 定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法を採用しております。 ４ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第３四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末 (平成23年２月28日)
※１ 有形固定資産の減価償却累計額　8,031,114千円	※１ 有形固定資産の減価償却累計額　7,620,633千円
２ ――――――――――――	２ 偶発債務 （重要な係争事件） 当社が株式会社ハードオフコーポレーションから平成21年11月５日付で提訴を受けていた訴訟について、平成23年２月25日付で新潟地方裁判所新発田支部より判決が言い渡されました。 訴訟及び判決の内容は次のとおりであります。 (1) 訴訟の内容等 平成21年10月15日をもって、株式会社ハードオフコーポレーションと締結している「HARD OFFフランチャイズ加盟契約、OFF HOUSEフランチャイズ加盟契約、Hobby OFFフランチャイズ加盟契約」(以下、「ＦＣ契約」という)を全て解約し、同年10月16日より、新たなブランド「WonderREX(ワンダーレックス)」でリユース事業を開始いたしましたが、このリユース事業がＦＣ契約終了後の競業の禁止に当たるとして、同年11月５日付で、株式会社ハードオフコーポレーションからフランチャイズ加盟契約終了後の競業行為差止請求及び同契約違反に対する違約金750,000千円の支払請求が提訴されました。 (2) 主な判決の内容 ①被告は、平成23年10月15日まで、「WonderREX(ワンダーレックス)」でリユース事業を行う店舗において商品を消費者から買い取り、それを販売する事業を行ってはならない。 ②被告は、原告に対し、750,000千円及び内金660,000千円については平成21年11月21日の翌日から、90,000千円については平成22年２月13日から各支払済みまで、年６パーセントの割合による金員を支払え。 今回の判決内容は承服しがたいものでありますので、当社としては本判決の是正を求めていく方針であり、平成23年３月11日に東京高等裁判所へ控訴いたしました。
※３ 災害損失引当金 東日本大震災により被災した店舗の復旧費用等の支出に備えるため見積額を計上しております。	３ ――――――――――――

(四半期連結損益計算書関係)

第３四半期連結累計期間

前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日)
※１　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	※１　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
従業員給料及び賞与　4,395,020千円	従業員給料及び賞与　4,393,192千円
賞与引当金繰入額　279,994千円	賞与引当金繰入額　282,859千円
退職給付費用　81,169千円	退職給付費用　79,810千円
水道光熱費　628,348千円	水道光熱費　528,956千円
減価償却費　764,266千円	減価償却費　693,367千円
地代家賃　2,041,953千円	地代家賃　2,009,769千円
貸倒引当金繰入額　2,137千円	
２　――――――――――――	※２　災害による損失 災害による損失の主な内訳は、有形固定資産の復旧修繕費用235,735千円、たな卸資産の廃棄損失26,148千円、営業休止期間中の固定費19,660千円であります。
３　――――――――――――	※３　訴訟和解金 平成23年８月５日付株式会社ハードオフコーポレーションとの和解に係る訴訟和解金であります。

第３四半期連結会計期間

前第３四半期連結会計期間 (自　平成22年９月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結会計期間 (自　平成23年９月１日 至　平成23年11月30日)
※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
従業員給料及び賞与　1,405,156千円	従業員給料及び賞与　1,415,277千円
賞与引当金繰入額　136,874千円	賞与引当金繰入額　141,361千円
退職給付費用　27,100千円	退職給付費用　26,694千円
水道光熱費　225,043千円	水道光熱費　190,409千円
減価償却費　271,641千円	減価償却費　239,468千円
地代家賃　680,010千円	地代家賃　672,077千円
貸倒引当金繰入額　2,137千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日)
※　現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	※　現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金　1,511,376千円	現金及び預金　1,283,918千円
現金及び現金同等物　1,511,376千円	現金及び現金同等物　1,283,918千円

(株主資本等関係)

当第３四半期連結会計期間末(平成23年11月30日)及び当第３四半期連結累計期間(自　平成23年３月１日至　平成23年11月30日)

１ 発行済株式の種類及び総数

普通株式　　54,036株

２ 自己株式の種類及び株式数

普通株式　　2,887株

３ 新株予約権等に関する事項

ストック・オプションとしての新株予約権

新株予約権の四半期連結会計期間末残高　提出会社 42,380千円

４ 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年４月14日取締役会	普通株式	127,872	2,500	平成23年２月28日	平成23年５月11日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

５ 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(金融商品関係)

当第３四半期連結会計期間末（平成23年11月30日現在）

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(リース取引関係)

当第３四半期連結会計期間末（平成23年11月30日現在）

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が、平成21年２月28日以前のリース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を行っておりますが、当第３四半期連結会計期間末におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動は認められないため記載しておりません。

(有価証券関係)

当第３四半期連結会計期間末（平成23年11月30日現在）

当社グループの所有する有価証券は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

(デリバティブ取引関係)

当第３四半期連結会計期間末（平成23年11月30日現在）

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第３四半期連結会計期間(自 平成23年９月１日 至 平成23年11月30日)

四半期連結財務諸表への影響額に重要性がないため、記載しておりません。

(資産除去債務関係)

当第３四半期連結会計期間末（平成23年11月30日現在）

資産除去債務の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日（注）と比較して著しい変動がありません。

（注）第１四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日）を適用しているため、前連結会計年度の末日における残高に代えて、第１四半期連結会計期間の期首における残高で判断しております。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結会計期間(自　平成22年９月1日　至　平成22年11月30日)

	直営事業（千円)	ＦＣ事業(千円)	その他の卸売事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,550,391	1,691,330	246,220	15,487,942	―	15,487,942
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	13,550,391	1,691,330	246,220	15,487,942	―	15,487,942
営業利益	53,821	26,914	4,195	84,931	―	84,931

前第３四半期連結累計期間(自　平成22年３月１日 至 平成22年11月30日)

	直営事業（千円)	ＦＣ事業(千円)	その他の卸売事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	40,938,815	4,553,983	929,525	46,422,324	―	46,422,324
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	40,938,815	4,553,983	929,525	46,422,324	―	46,422,324
営業利益	132,929	50,736	21,563	205,229	―	205,229

(注) １ 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。
２ 各区分の事業内容
(1) 直営事業……ゲームソフト、音楽ソフト、映像ソフト、書籍、携帯電話等の店舗での小売り販売
(2) FC事業……ゲームソフト、音楽ソフト、映像ソフト、書籍等のFCへの卸売
(3) その他の卸売事業……ゲームソフト、音楽ソフト、映像ソフト、輸入化粧品等の卸売
３ 会計処理の方法の変更
前第３四半期連結累計期間
（たな卸資産の評価方法の変更）
「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、前第１四半期連結会計期間より、パソコン・家具等の一部のリユース品（中古品)については、売価還元法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法）から移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しました。この結果、従来の方法によった場合と比較して、前第３四半期連結累計期間の直営事業の営業利益は73,792千円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結会計期間(自 平成22年９月１日 至 平成22年11月30日)及び前第３四半期連結累計期間(自 平成22年３月１日 至 平成22年11月30日)

海外子会社及び連結会社の海外事業所はありませんので、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第３四半期連結会計期間(自 平成22年９月１日 至 平成22年11月30日)及び前第３四半期連結累計期間(自 平成22年３月１日 至 平成22年11月30日)

海外売上高はありませんので、該当事項はありません。

【セグメント情報】

1　報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、エンタテインメント営業本部及びエコプロデュース営業本部を置き、商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは営業本部を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成されており、「WonderGOO事業」及び「WonderREX事業」の２つを報告セグメントとしております。

「WonderGOO事業」は、ゲームソフト、音楽ソフト、映像ソフト、書籍、化粧品、携帯電話等の小売販売及び、それら商品の一部をＦＣへ卸売をしております。「WonderREX事業」は、リユース商品の買取・販売をしております。

2　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年３月１日　至　平成23年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	WonderGOO	WonderREX	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,610,420	3,754,845	46,365,265	48,051	46,413,317	―	46,413,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	1,204	1,204	△1,204	―
計	42,610,420	3,754,845	46,365,265	49,255	46,414,521	△1,204	46,413,317
セグメント利益	457,489	140,955	598,445	37,585	636,031	―	636,031

(注) 1．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結会計期間(自　平成23年９月１日　至　平成23年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	WonderGOO	WonderREX	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,280,382	1,420,714	15,701,097	15,801	15,716,898	―	15,716,898
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	379	379	△379	―
計	14,280,382	1,420,714	15,701,097	16,181	15,717,278	△379	15,716,898
セグメント利益	107,851	91,435	199,286	12,258	211,544	―	211,544

(注) 1．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号　平成21年３月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日)を適用しております。

(１株当たり情報)

１　１株当たり純資産額

当第３四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末 (平成23年２月28日)
１株当たり純資産額　191,906円73銭	１株当たり純資産額　207,078円96銭

２．１株当たり四半期純利益金額等

第３四半期連結累計期間

前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日)
１株当たり四半期純利益金額　387円08銭 なお、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	１株当たり四半期純損失金額（△）　△12,672円28銭 同左

(注)　１株当たり四半期純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

項目	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は四半期純損失（△）(千円)	20,692	△648,174
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失（△）(千円)	20,692	△648,174
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式の期中平均株式数(株)	53,459	51,149
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	―	―

第３四半期連結会計期間

前第３四半期連結会計期間 (自　平成22年９月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結会計期間 (自　平成23年９月１日 至　平成23年11月30日)
１株当たり四半期純利益金額　293円78銭 なお、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	１株当たり四半期純利益金額　2,208円25銭 同左

(注)　１株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第３四半期連結会計期間 (自　平成22年９月１日 至　平成22年11月30日)	当第３四半期連結会計期間 (自　平成23年９月１日 至　平成23年11月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	15,705	112,949
普通株式に係る四半期純利益(千円)	15,705	112,949
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式の期中平均株式数(株)	53,459	51,149
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	―	―

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

２ 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年１月11日

株式会社 ワンダーコーポレーション
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　西　岡　雅　信　印

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　陸　田　雅　彦　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワンダーコーポレーションの平成22年３月１日から平成23年２月28日までの連結会計年度の第３四半期連結会計期間(平成22年９月１日から平成22年11月30日まで)及び第３四半期連結累計期間(平成22年３月１日から平成22年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワンダーコーポレーション及び連結子会社の平成22年11月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第３四半期連結会計期間及び第３四半期連結累計期間の経営成績並びに第３四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) １ 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
２ 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年１月10日

株式会社 ワンダーコーポレーション
　取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士　西　岡　雅　信　印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士　陸　田　雅　彦　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワンダーコーポレーションの平成23年３月１日から平成24年２月29日までの連結会計年度の第３四半期連結会計期間(平成23年９月１日から平成23年11月30日まで)及び第３四半期連結累計期間(平成23年３月１日から平成23年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワンダーコーポレーション及び連結子会社の平成23年11月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第３四半期連結会計期間及び第３四半期連結累計期間の経営成績並びに第３四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) １ 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
２ 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。